

XVII. オランダ

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○社会構造 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口：1,728 万人（2020 年 IMF 推計） ○経済環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人当たり GDP：51,290 ドル（2020 年 IMF 推計） ・ 実質 GDP 成長率：-5.4%（2020 年 IMF 推計） ・ 1 ドル=0.82 ユーロ/1 ユーロ=127.08 円(2021/1/31) 	
2. 金融制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○銀行等の業態分類（機関数、総資産、根拠法） <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間商業銀行（29、2.0 兆ユーロ、金融監督法） ・ 協同組織金融機関（89、0.6 兆ユーロ、金融監督法） ○1990 年代から金融機関が合併と統合を繰り返したことで、4 大銀行（ING 銀行、ラボバンク、ABN アムロ銀行、フォルクス銀行（旧 SNS 銀行））による寡占状態。 ○大手 4 行の CET1 比率（普通株式等 Tier1 比率）は 2020 年 6 月末で、ING 銀行が 15.0%、ラボバンクが 16.6%、ABN アムロ銀行が 17.3%、フォルクス銀行が 33.8%である。 ○世界金融危機・欧州債務危機により、多額の公的資金が銀行に注入された。 ○監督官庁：オランダ中央銀行（DNB）、金融市場庁（AFM）、欧州中央銀行（ECB） ○預金保険制度：あり（元利合計 10 万ユーロ上限）。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間商業銀行であり旧ポストバンクの流れを汲む ING 銀行が総資産では国内最大手の金融機関であり協同組織金融機関のラボバンクが第 2 位。 ○ING 銀行は公的資金を完済。ABN アムロ銀行とフォルクス銀行は政府系機関が株式を保有。ラボバンクは公的資金を受けていない。 ○2014 年 11 月より、銀行の重要性・監督業務に応じて国内当局（DNB、AFM）と ECB が分担して規制監督を行う制度に変更された（単一監督メカニズム）。
3. 郵便貯金の現況	<ul style="list-style-type: none"> ○郵便貯金制度・経営形態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1881 年に国立郵便貯金銀行が設立。同行は 1986 年に民営化し、ポストバンクと改名。 ・ 同行は 1991 年に保険大手と合併して金融コングロマリットの ING グループを形成。2009 年に ING 銀行のリテール部門に吸収された。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ING グループは事業再構築の一環として、2016 年にナショナル・ネーデルランテン（NN Group）を、2015 年に米系保険会社ヴォヤ（Voya Financial, Inc.）を切り離した。公的資金は 2014 年完済し

	<p>○郵便会社等との関係・拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1993 年に郵便会社 KPN（現：PostNL）と合弁企業 Postkantoren（郵便局会社）を設立し、従来型（traditional）郵便局を運営していたが、2011年にこれら郵便局を全局閉鎖した。代えて、PostNL社は小売店等の内部に窓口を設ける形態の店内郵便局（“shop-in-shop” post offices）の設置を進めた。 • 郵便局数は 1,551 局（2019 年 12 月末）。 <p>○顧客基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> • ING 銀行の収益源として、オランダのリテール金融部門が最大である。 • オランダ以外に約 40 の国と地域に拠点をもち、欧州やオーストラリア等 13 か国ではリテール金融に注力。その他の国ではその他の多くの国はホールセールバンキングを主としている。 <p>○主な商品</p> <ul style="list-style-type: none"> • 預金、貸付、送金・決済、保険、投資商品販売等様々な商品を提供。 	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ING 銀行のオランダリテール部門の純利益は 16.5 億ユーロにのぼり、全体の 34.0%である。 ○2018 年のオランダ与信機関総残高に対して、家計預金で 49.2%、企業貸出で 30.6%、住宅ローンで 63.5%を占め、いずれも国内首位である。
<p>4. 金融セクターにおけるリテールの特徴</p>	<p>○ポストバンクの流れを汲む ING 銀行（ING Bank）は、総資産でオランダ最大の銀行である。協同組織金融機関のラボバンク（Rabobank）は第 2 位である。上位 2 行が代表的なリテール金融機関ということであり、それだけオランダにおいてはリテール金融機関の存在が大きい。</p> <p>○個人金融資産（2019 年 12 月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 総額 2.8 兆ユーロ • 預金：15.3% • 有価証券（株式・ファンド・長/短期債）：10.6% • 年金掛金・生命保険等：68.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人金融資産は保険・年金資産に傾斜している。 ○オランダの上位 2 つの年金基金の規模は世界的にも大きい。
<p>5. 最近の金融動向と今後展望</p>	<p>○マイクロファイナンス等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 持続的成長が可能な社会を目指し、社会事業に投資するソーシャルインパクトファンド、ソーシャルインパクトボンドに注目が集まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間大手の ABN アムロ銀行は 2013 年、ソーシャルインパクトファンドを導入。途上国の農家への融資や床振動を活用した発電、健康増進など、社会的インパクトを有する活動を行っている国内企業に対して 1社あたり 50～150 万ユーロを投資してきた。また、オ

<p>○ATM・支店の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン決済の急拡大により、ATM や支店窓口における現金引き出し件数は急激に減少。ATM のセキュリティ等の問題も相まって、オランダ国内の ATM、銀行支店数は近年大幅に減少している。 <p>○国有銀行再上場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ABN アムロ銀行は 2015 年 11 月、IPO を実施し再上場した。株式の政府保有割合は減少している。 ・ フォルクス銀行は全株式を政府が保有する形態に変わり（2015 年 9 月）、NLF1 のもとで民営化の準備が進められている。 <p>○サーキュラーエコノミーファイナンス・ガイドライン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年 7 月に ING 銀行、ABN アムロ銀行、ラボバンクが共同でガイドラインを制定した。循環型経済への移行期における金融の主要な役割を制定し発展させることを目的としている。 <p>○グリーンボンド（環境債）市場の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年 5 月にオランダ初となるグリーン国債を発行し 60 億ユーロを調達。 <p>○キャッシュレス化・モバイル決済の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オランダのキャッシュレス化やモバイル決済はヨーロッパ諸国の中でも進んでいる。 <p>○リテール決済に関する法規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EU 一般データ保護規則（GDPR）と第 2 次決済サービス指令（PSD2）は、リテール金融機関に大きな影響を与えている。 <p>○ING 銀行の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年に欧州委員会（EC）との間で定めた構造改革 	<p>ランダでは7つのソーシャルインパクトボンドが発行されており、ABN アムロ銀行はそのうち 5 つに投資している。</p> <p>○マイクロファイナンスに特化し資産規模の大きなオイコレッジトの存在はオランダ特有である。</p> <p>○低金利等の事業環境が厳しく短期的にはフォルクス銀行の民営化・再上場は難しいと見られている。</p> <p>○EU においても欧州委員会で 2015 年 12 月に「サーキュラーエコノミーパッケージ」が採択されており、ガイドライン制定は EU の取り組みに合致したものと言える。</p> <p>○グリーンボンド発行に際し「グリーンボンド・フレームワーク」を設定し資金用途を明確化した。</p> <p>○オランダの e コマース（電子商取引）で幅広く利用されている決済方法が iDEAL である。ほぼすべてのオランダの銀行がこの決済システムに接続していることもあり、オランダにおいては iDEAL 決済が一般的である。</p> <p>○ING 銀行はデジタル化を推進しデジタルバンキング・プラットフォーム</p>
--	--

	<p>計画を実施、具体的には国内外の保険・投資部門の切り離し、注入された公的資金の返済を完了。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2017 年、2020 年の財務上の数値目標等を含む Accelerating Think Forward を発表し(2016 年 10 月)、推進中。 • リテール顧客向けにデジタル化サービス促進を通じた顧客サービスの向上を目指している。 	<p>ームを構築するとともに、2021 年までに 9 億ユーロのコスト削減を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プライマリーカスタマーは 1,330 万人へと拡大しシンクフォワード戦略は着実に進捗している。
--	--	---